

# 茨城県生協連ニュース 臨時号 No.15

## 茨城県豪雨災害復興関連情報 がんばろう！

2015年9月25日 発行:茨城県生活協同組合連合会 水戸市梅香 1-5-5JA会館分館 5F 電話 029(226)8487

ボランティアセンターに派遣しているいばらきコープ佐藤伸さんから投稿いただきました。ご覧ください。

### <9/23 ボランティア活動の様子>



【出発前の風景】



【帰ってからの手洗いとうがい風景】

シルバーウィーク後の平日のボランティア受入の体制が決まりました。守谷駅、前川製作所からのバス送迎は終了しました。9月24日(木)からはシルバーウィーク前と同様に中妻地区にある常総市災害ボランティアセンター本部の近郊の3か所の駐車場、大花羽小、流通センター、青少年の家に車で集合していただき、マイクロバスで本部までピストン輸送し受付します。こののち、支援作業場所に車にて移動することとなりました。水海道地区、石下地区のサテライトは受付を本部に集約し、出先でのサポートに機能を絞ることになりました。

(常総市内の田んぼなどには)いまだに洪水で流されたライトバンや軽乗用車、アルミ板トラックが田んぼに放置されたままになっています。道路沿いのフェンスが大きく傾いたままのところも目立ちます。守谷市の前川製作所駐車場および守谷駅からの水海道サテライトへの直通バスは、延べ13台、436人のボランティアが来た。9/23は、全体で本部・石下3地区合計で1,830人のボランティアが支援活動を行いました。早朝に水海道地区に入ると、市内森下町の森下公園には大量のゴミがおかれたままの状態になっていました。周辺の道路沿いに積み重ねられたゴミもそのままです。常総市の行政のゴミ回収は滞ったままです。この日の被災者支援のボランティア活動も掃除や片付けが中心ですが、常総市による消毒用の石灰の配布が進んだようで、庭や玄関、床下への石灰の配布の依頼が目立ちました。

また屋内の清掃だけでなく、庭木の草取りや枝切りなど、家の中から外の作業に変わってきました。準備してある資材からはスコップの使用はほとんどなくなりました。床上浸水したアパートの女性市民からは、室内の細かい清掃の要望、女性2名の支援要請があり女性4名のグループを派遣しました。水海道地区は、鬼怒川の支流の新八間堀川の水位が大きく上がり、下水から逆流した水が溢れたことによる浸水の被害を受けました。この泥水は下水を含んだきたない水です。どろにまみれた食器は一度洗っただけでは乾燥しても、こまかい粉状のどろが残ります。もう一度ていねいに洗剤で洗うことが必要です。

掃除のボランティアも日々内容は変わっています。被災者のみなさんからは、ゴミ処理、ゴミ回収への行政への要望不満がやはり目立ちます。水海道地区の下水は流れ込んだドロであちこち詰まっているようです。先日の雨で下水があふれたとの情報もあります。家屋の片づけ掃除がすんだら、次は下水の泥払いも作業に加わるかもしれません。この日の夕方

<お問い合わせ>茨城県生活協同組合連合会(担当 古山・鈴木・原) Tel 029-226-8487 Fax 029-224-1842

Mail [ibkenren@ibaraki-kenren.coop](mailto:ibkenren@ibaraki-kenren.coop)

以上